

## 圧縮試験・繰返し圧縮試験

## 試験報告書

令和元年9月11日

1. 試験受付日：令和元年7月16日
2. 件名：KTパッキング圧縮試験・繰返し圧縮試験
3. 試料：KTパッキング
4. 試験方法及び結果

## (1) 圧縮試験

- (1)-1. 試験目的：扉に取り付けたKTパッキングを扉が閉まった状態において幼児がKTパッキングの横から手を挿入し扉を開ける状態を想定。軟質硬質接合部に亀裂が入らないか確認する。
- (1)-2. 試験方法：幼児の手を直径約80mmのO型金属製治具(図1)と想定し、幅30mmの治具に固定した試料を横から圧縮し(図2)得られた最大圧縮力を記録。合せて軟質硬質接合部における亀裂の有無を目視にて確認。

試験片形状：製品状試料(長さ450mm)

試験片数：3

圧縮の割合：試料幅の30%

試験速度：50mm/min

初期荷重：1N

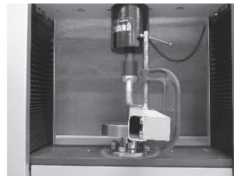
試験温度：23±2°C

試験装置：(株)島津製作所製 精密万能試験機 オートグラフ AG-Xpulus 10kN

図1



図2



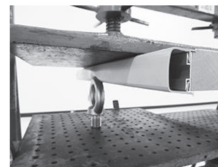
## (1)-3. 試験結果

試験数	30%圧縮応力(N)	軟質硬質接合部における亀裂の有無
n=1	21.8	亀裂を認めず
n=2	22.4	亀裂を認めず
n=3	20.1	亀裂を認めず
中央値	21.8	-

## (2) 繰返し圧縮試験

- (2)-1. 試験目的：幼児が繰返し、KTパッキングの横から手を挿入し扉をくり返し開ける事を想定。軟質硬質接合部に亀裂が入らないか確認する。
- (2)-2. 試験方法：治具で繰返し圧縮した。(図3)  
試験片数：1  
圧縮の割合：試料幅の50%  
試験回数：30万サイクル

図3



## (2)-3. 試験結果

試験項目	結果
軟質硬質接合部における亀裂の有無	亀裂を認めず

試験機関：一般財団法人 化学物質評価研究機構

以上